

時代のニーズに合わせて、低温物流の多様なサービスを提供

東日本大震災の直後、各地の店頭で食料品が品薄になったことは記憶に新しいと思います。まさに物流の重要性が再認識された出来事でした。低温物流事業のニチレイロジグループは、安定供給を基本として、災害対策、効率化、環境配慮など、時代のニーズに合わせた物流サービスを提供しています。

コールドチェーンを支える事業

冷凍食品をはじめ、肉や魚、乳製品などの食品には、適切な温度管理が欠かせません。外食産業や食品メーカーの原材料にも、多くの冷蔵・冷凍品が使われています。

こうした細やかな温度管理が必要な低温物流を担っているのが、ニチレイロジグループです。戦後に製氷事業からスタートしたこともあり「冷やす」技術を得意としてきました。

ニチレイロジグループは冷蔵倉庫や物流センターなど冷蔵・冷凍品を取り扱う拠点を全国各地に110カ所以上、国内では最大規模の冷蔵保管能力を持っています。さらに、安全・確実に商品を運ぶ低温物流ネットワークは、全国に広がっています。

遠い産地で取れた新鮮な魚の刺身を味わえるのも、海外から食品を輸入できるのも、「コールドチェーン」がつかっているからです。コールドチェーンとは、産地から工場、卸、小売店、そして最終的に生活者の手に届くまで、冷蔵・冷

凍での流通が途切れない仕組みのことです。

万が一どこかでその流通システムが途切れたら、商品の価値は失われてしまいます。ニチレイロジグループが営む低温物流事業は、コールドチェーンの根幹を担い、食の流通を支える事業と言えます。

効率化を進め時代のニーズに対応

商品の安定供給は大前提として、今や物流に求められるニーズは多岐にわたっています。そのひとつが効率化です。

ニチレイロジグループは個別に業務を請け負うだけでなく、必要な物流業務を一括して担うサービスを提供しています。お客様のサプライチェーンを全体最適の視点で見直し、繰り返し改善提案を行うことで、さらなる効率化を進めています。

それぞれの現場で活躍する一人ひとりが、お客様と一体になり、知恵と工夫を積み重ねることで、高度化する多様なニーズにきめ細かく対応しています。

ささしま 咲洲物流センターの新設

近年、大消費地であり、全国各地へのアクセスもよい関東・関西圏に在庫を集中保管し、在庫圧縮と物流効率化を同時に図ろうとする動きが目立っています。

こうしたニーズを受け、2014年10月に、関西地区で最大規模となる4万100tの咲洲物流センターを新設しました。

災害対策としては、冷蔵庫棟に免震構造を採用。もともと冷蔵倉庫は構造上、たとえ電気が止まっても、扉を開け

ない限り一定期間は庫内温度を維持できますが、停電時に備えて自家発電の設備も導入しました。

また、フードディフェンスの観点から、ICカードを使ったセキュリティシステムを導入しました。アクセス権に応じて、進入可能なエリアを厳格に設定しています。

多くのエネルギーを必要とする低温物流事業では、環境対応も重要です。冷凍装置には、地球温暖化への影響が小さい自然冷媒を使用しているほか、高効率の省エネ型冷凍システムを採用しています。また、省エネ対策としてLED照明設備も導入しています。



冷蔵庫棟の免震装置



非常用発電装置



ICカードを使ったセキュリティシステム



自然冷媒冷凍装置

一人ひとりの誇り高い仕事がいより良いサービスの提供につながる

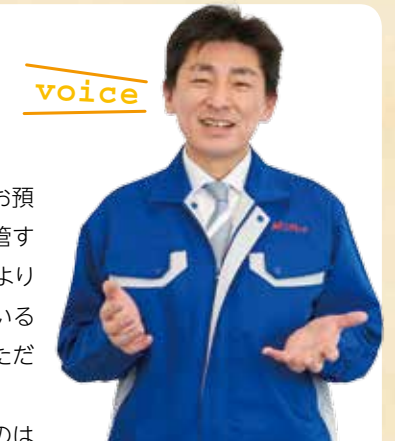
大阪港湾地区は、冷蔵倉庫が慢性的に不足しており、お客様のニーズに応えきれない状況が続いていました。昨年10月に待望の大型センターを新設し、ようやくご要望にお応えできるようになりました。

厳しい経済環境がみられるなか、多くのお客様が物流の効率化やコスト削減に取り組まれており、私たちとしましても限られた冷蔵スペースや輸配送車両等をいかに効率良くご提供できるかが重要になります。

当センターには、凍結設備に加えて解凍設備も導入しており工場に納品する原材料をあらかじめ解凍してお届けするなど、お客様の作業工程を代替するような流通加工サービスもご提供しております。

私たちの仕事の基本はお客様からお預かりした商品をそのままの状態でも保管することです。お客様には、設備というよりも、私たちのグループでご提供している低温物流というサービスをご利用いただいていると考えています。

所長として今最も気にかけているのは従業員の意欲です。そのために働きがいのある環境づくりにも力をいれています。従業員一人ひとりがお互いの立場やお客様の立場に立って、商品の受け入れや保管時、あるいは事務作業等に注意を払うとともに日々の仕事に誇りを持って取り組んでいけば、お客様の信頼を得ることができると思っています。



(株)ニチレイ・ロジスティクス関西 咲洲物流センター 所長 竹内 弘明

物流センターの設備保守から、管理部、営業部を経て、2014年4月、咲洲物流センターの準備室長に就任。10月のオープン以降、所長として運営管理を行っている。